



“Catalog Pocket”
でも配信しています



上松町消防団 令和8年出初式

1月17日(土)に、令和8年の年頭を飾る上松町消防団出初式が挙行されました。式典では、澤木団長により消防団員心得が朗読された後、消防功労者への表彰式と、昨年度末に退団された方達に退団報償が伝達されました。

式典後には、消防団員と消防車両、そして木曾広域消防車両がラッパ吹奏に合わせて駅前から町内を行進する「市中行進」が行われ、消防団の雄姿を見ようと、団員の家族や近隣の方など多くの方が集まりました。

(関連記事 2P)

令和8年2月1日現在

世帯 1,948 戸(± 0)
男 1,867 人(− 3)
女 1,943 人(± 0)
計 3,810 人(− 3)



美林ちゃん



太郎ちゃん

上松町消防団 令和八年出初式

令和八年の年頭を飾る上松町消防団出初式が一月十七日(土)、上松町ひのきの里総合文化センターにおいて、消防団員九十四名が出動し、厳粛に挙行されました。

表彰式では、団本部 三浦智司分団長ら二名に日本消防協会長表彰が、無火災章の第一分団のほか団本部 山田良輔副団長ら十四名に長野県消防協会長表彰が、第四分団



高橋正和副分団長ら八名に木曾消防協会長表彰が授与されました。さらに、上松町消防団長表彰が三十九名に、団長特別表彰が七名に、上松町長表彰が十六名にそれぞれ授与されました。また、昨年度末をもって退団された長屋裕二前分団長ら四名の皆さんに消防庁長官と長野県知事の退職報償が伝達されました。

式典終了後には、王滝村消防団ラッパ班と合同によるラッパ班の行進曲に合わせ、駅前から市中行進が行われ、沿道には団員のご家族や多くの住民の方が集まっていました。消防団員は、地域の安全・安心を守るため、昼夜を問わず活動しています。今後も消防団活動にご理解ご協力をお願いするとともに、地域の皆さんで消防団員を応援しましょう。

消防団員募集



上松町消防団は現在135名が消防団員として活動しています。「自らの地域は自らが守る」という郷土愛護の精神に基づき、火災をはじめとするあらゆる災害に出動し、地域の安全、安心を守る役割を担っています。

私たちのふるさと「あげまつ」を守るためには、性別を問わず多くの人材が必要となります。

消防団員を随時募集していますので、興味のある方はお問い合わせください。

◆入団資格

上松町内に在住または勤務されている18歳～45歳の方

◆主な活動内容

- ・火災発生時の消火活動
- ・火災想定訓練の実施
- ・各種行事への参加
- ・火防啓発活動

▼問い合わせ先

上松町危機管理課危機管理係 TEL: 52-4902



令和八年表彰者

1. 日本消防協会会長表彰

精績章

団本部 分団長 三浦 智司
第2分団 分団長 大平 直己

2. 長野県消防協会会長表彰

(1) 無火災章

第1分団

(2) 永年勤続功労章

団本部 副団長 山田 良輔
第3分団 副分団長 古田 誠一
第2分団 班長 三浦 大育

(3) 功績章

第3分団 分団長 吉村 光一

(4) 功労章

第2分団 分団長 大平 直己

(5) 努力章

第1分団 分団長 阿部秀一郎

(6) 精績章

第3分団 副分団長 古田 誠一

(7) 技術章

第1分団 班長 長尾 啓史

(8) 精勤章

第2分団 副班長 柳澤 航平
第1分団 団員 原 聖也
第2分団 団員 松尾 薫
第2分団 団員 小林 信彦
第2分団 団員 長渡 健佑
第3分団 団員 板野航太郎

3. 木曾消防協会会長表彰

(1) 功労章

第4分団 副分団長 高橋 正和

(2) 勤続章

第1分団 班長 竹腰 翔太
第2分団 班長 前野 俊
第3分団 副班長 中澤 和弘

(3) 技術章

第2分団 班長 三浦 大育

(4) 精勤章

第1分団 団員 五十嵐一馬
第1分団 団員 三田 陽介
第3分団 団員 清水 泰輝

4. 上松町消防団長表彰

(1) 15年精勤章〔特別精勤章〕

第3分団 班長 竹原 陽平
第4分団 班長 花戸 駿
第2分団 副班長 今井 竜太
第3分団 副班長 中澤 和弘

(2) 9年精勤章〔1級精勤章〕

第1分団 副班長 大日向則幸
第2分団 副班長 今井 耕太
第4分団 副班長 織田 藍

(3) 8年精勤章

第3分団 班長 曾我 友啓
第1分団 副班長 本田 真士
第2分団 副班長 柳澤 航平
第4分団 副班長 小林 奈央
第1分団 団員 大屋 聡
第4分団 団員 織田 雅也

(4) 7年精勤章

団本部 副分団長 大橋 史良
第1分団 副班長 垣外 賢二
第3分団 副班長 池田 祐也

(5) 6年精勤章〔2級精勤章〕

第1分団 団員 横井 潤
第3分団 団員 板野航太郎

(6) 5年精勤章

第1分団 団員 三田 陽介
第3分団 団員 清水 泰輝
第3分団 団員 大平 健斗

(7) 4年精勤章

第1分団 団員 葉葉 久義
第1分団 団員 原 聖也
第2分団 団員 新井 達也
第3分団 団員 井上イバン

(8) 3年精勤章〔3級精勤章〕

第2分団 団員 菅野 充
第3分団 団員 田上 幸伸
第3分団 団員 笹川 将人
第3分団 団員 小針 慧士

(9) 2年精勤章

第3分団 副班長 和田 研吾
第1分団 団員 坂 陸
第3分団 団員 石渡 勇輝

(10) 1年精勤章

第1分団 団員 関口 壘
第1分団 団員 下野 武蔵
第2分団 団員 平沢 和之
第2分団 団員 池田 優聖
第3分団 団員 倉持 海音

第3分団 団員

ガルシア・サムエル・マルフィル
第4分団 団員 永澤 馨

◆ 団長特別表彰

(1) 努力章

団本部 部長 根井 大輔
第2分団 部長 木下 康弘
第1分団 班長 下田 真大
第3分団 班長 中谷 茂
第1分団 副班長 大道 拓哉
第2分団 副班長 柳澤 航平
第3分団 副班長 板野 将也

◆ 退職報償伝達者

(1) 消防庁長官退職報償

第4分団 前分団長 長屋 裕二
第4分団 前班長 上小路 誠
第3分団 前団員 浦田 皓章
第4分団 前団員 奥谷 聖

第3分団 副班長 板野 将也
第3分団 副班長 丸山 右恭
第4分団 副班長 織田 隼人



上松小学校グラウンドで 災害時ドローン配送訓練

一月三十日（金）に上松小学校グラウンドで、災害時対応を想定したドローン配送訓練が行われました。

木曾広域連合と郡内六町村では、災害時の迅速な支援につながる取組としてドローンインフラ整備事業を進めており、今回の配送訓練は、上松町と近隣の木曾町、王滝村、大桑村を繋ぐ、自動飛行ルート構築のために行われました。ドローンが小学校グラウ



ンドに到着すると、上空からの物資引き上げ訓練が行われました。グラウンド上空をホバリング飛行するドローンから降ろされたワイヤーに訓練用の物資が装着されると、ウインチによって物資は上空へと引き上げられました。そして、物資を吊り下げたまま木曾町へ向かい飛び立ち、試験飛行は無事終了しました。

上松中学校

「ふるさと」思い出造成事業」で作業体験

二月五日（木）に上松中学校一年生が、「ふるさと」思い出造成事業」として作業体験を行いました。

「ふるさと」思い出造成事業」は木曾地域振興局が行っている事業で、子どもたちが地域資源（もの・技術）を活用し、地域貢献活動や体験等

を深め、将来の地域定着・帰を促進させること、子どもたちが地域で活動している職人等と協力して作業することによる地域活性化を目的としています。

中学生達は、三つのグループに分かれて「木製ボールペン制作体験」「ヒノキの箸づくり体験」「箸袋の染め体験」の三つの体験を、地域おこし協力隊の皆さんの指導を受けながら行いました。



木製ペン制作では木工ろくる（旋盤）を使った加工体験や、やすり掛けやオイル塗りといった仕上げ作業を行いました。箸づくりでは、細い角材を専用の台と鉋を使って削り、自分たちの手で箸の形に仕上げました。



箸袋染めでは、ベンガラ（土の成分で出来た染料）を使って、生地を縛ったりつまんだりして圧力をかけて模様を作る絞り染めを行いました。

地域おこし協力隊だより

【尾上 季里子 隊員】



生涯学習担当の尾上季里子です。地域おこし協力隊に着任し10か月が経過しました。

今回は、昨年の5月から参加している上松町社会福祉協議会主催の『ゆる活』についてお話

したいと思います。

『ゆる活』は、社協さんが月に一度、上松町健康増進センターで開催している「地域の方々のためのコミュニティスペース」で人との繋がりや趣味探し等を目的としています。好きな時間にふらっと寄ってお茶を飲んだりしながら、リラックスして過ごせる空間です。

その中で私は、親子向けのワークショップをメインに、簡単なべんがら染め体験や手先を使った糸掛け(コスモサークル)体験などを実施してきました。

作品作りは、小さな子どもと一緒に参加できるものや、お子さんの待ち時間を最小限にして、お母さんが自分自身に集中できるものを心掛けて企画しています。



これまで小さなハンカチを染めたり、はぎれのコースターの型染めや子どもの手形スタンプなどのべんがら染め体験、紙コースターに糸を掛けてまんだら模様を完成させるコスモサークル作りなど、参加者の方々と楽しんでできました。

私自身も子育て中の母の一人でもあり、日々に追われて気が付いたら「自分の時間がなかったな」と後で気づくことがよくあるので、数分でも無心になれる時間は大切なのではないかと考えています。今後も没頭しリフレッシュできる時間・企画を提供していければと思います。

また、私自身、ゆる活を通して町民の方々と繋がりを持つとても良い機会となっています。今後もこの活動を続けながら、様々な方向へ活動を広げていきたいと思っています。

【永澤 馨 隊員】



皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の永澤です。

現在、「ふるさと思い出造成事業」で木工体験を行うための準備を進めています。

「ふるさと思い出造成事業」は、木曾地域振興局の事業で、子どもたちが地域資源(もの・技術)を活用し、地域貢献活動や体験等を行うことで、地元への愛着を深め、将来の地域定着・回帰を促進させること、子どもたちが地域で活動している職人等と協力して作業することによる地域活性化を目的とした事業です。

今回は、上松中学校の1年生に、「ボールペン制作体験」「ヒノキの箸づくり体験」「箸袋の染め体験」の3つを体験してもらう予定です。

私は箸づくり体験を担当しており、当日は小鉋を使用し木材を削って八角形の箸を作る体験をしてもらい

ます。鉋は力のかけ具合や木目の方向など「コツ」があるので、実際に道具に触れ、その感覚など様々な気づきに、楽しさを感じてもらえたらと思っています。また、鉋は使用前に「仕込み」をしないと使用することができません。昔ながらの手道具を丁寧に扱い使い続けること、木工の豆知識なども伝えられればと思います。

制作した箸は、塗装をして完成です。今回作るオリジナル箸袋と一緒に、永く愛用してもらえると嬉しいです。箸づくり体験やボールペン制作体験は、今後もKINOTOCOで、ワークショップとして開催する予定です。(KINOTOCOで開催するボールペン制作体験は自分好みの形に削れます。)

ベンガラ染めについても公民館で定期的に講座を開いていますので、ご興味ありましたらぜひ、参加してみてください。

「110番の日」啓発活動

1月10日(土)の「110番の日」を前に、1月8日(木)に上松駅前周辺では「110番」を正しく理解して使用してもらうことを目的に、木曾警察署、上松交番、上松町交番連絡協議会による啓発活動が行われました。

「110番の日」は、警察への緊急通報用ダイヤルである「110番」を不要不急の用件で使用しないよう、正しい通報の仕方を呼びかけるために、1985年に警察庁が制定しました。長野県の令和7年110番受理件数は110,408件で、その内、緊急性の無い要望や相談の通報は9,639件、間違い電話やいたずら等非有効件数が16,506件となりました。

寒さが厳しい日となりましたが、参加者の皆さんは啓発品を駅利用者に手渡し、「110番」の適切な利用を呼び掛けました。

「110番」は県内のどこからかけても、長野市内にある長野県警察本部通信指令課につながります。「110番」を利用する際は、慌てず、落ちついて警察官の質問に答え、正しい「110番」をしましょう。

また、落とし物や拾い物、道路状況のお問い合わせは最寄りの交番や警察署へ、緊急ではない警察への相談事は、警察総合相談窓口「#9110」をご利用ください。



初 日	前頭十四枚目	獅 司	●	押し出し
2 日 目	前頭十五枚目	竜 電	○	上手投げ
3 日 目	前頭十六枚目	朝 乃 山	●	寄り切り
4 日 目	前頭十七枚目	朝 白 龍	○	寄り切り
5 日 目	前頭十七枚目	羽 出 山	○	押し出し
6 日 目	前頭七枚目	欧 勝 馬	●	寄り切り
7 日 目	前頭十枚目	時 疾 風	●	寄り切り
中 日	前頭十五枚目	朝 紅 龍	●	押し出し
9 日 目	前頭十一枚目	千代翔馬	○	叩き込み
10日 目	前頭十三枚目	友 風	●	叩き込み
11日 目	前頭九枚目	豪 ノ 山	○	叩き込み
12日 目	前頭十三枚目	翔 猿	●	寄り切り
13日 目	前頭八枚目	正 代	○	押し出し
14日 目	前頭十枚目	琴 勝 峰	●	寄り切り
千 秋 楽	前頭十二枚目	翠 富 士	○	押し出し

大相撲 令和8年1月場所 御嶽海関の成績

西前頭14枚目 7勝8敗

令和8年1月11日から25日まで、大相撲令和8年1月場所が東京都両国国技館で開催されました。先場所も一歩及ばずの負け越しとなり、2場所連続で悔しい思いをした御嶽海関。今場所は黒星スタートから2日目に白星を挙げるも、3日目に再黒星。4、5日目で2連勝となり勢いに乗りたいたところでしたが、6日目から3連敗となってしまいました。その後も勝ち負けを繰り返す状況となり、千秋楽では白星を挙げるも、7勝8敗で惜しくも負け越しとなりました。この悔しさをバネにして、来場所では更なる活躍を見せてくれることを期待します。

頑張れ！御嶽海関！！

町内各地区で どんど焼き

一月の上旬から中旬にかけて上松町の各地区では、正月飾りや達磨、書初めを竹等で組んだやぐらと共に燃やして、無病息災や五穀豊穡を願う「どんど焼き」が行われました。

「どんど焼き」は「左義長」や「三九郎」とも呼ばれ、正月の終わりである小正月（一月十五日頃）の行事として、全国各地で行われています。

各地区のどんど焼きに参加した人達は、勢い良く燃える炎と空に昇る煙を見ながら今年一年の無事を願うと共に、その火でお餅を焼いたり、お酒やおつまみを持ち寄りたりしながら、地域の方との交流を楽しみました。



K5 木曽広域ケーブルテレビご加入者様へ マイページの開設と クレジットカード決済開始のご案内

10月からケーブルテレビの新たなサービスで、マイページとクレジットカード決済が始まりました。

マイページで何ができるの？

- 契約内容や請求情報、支払情報の確認
- 請求情報やお知らせなどをメール受信

クレジットカード払いに変更するには？

- まずはマイページにログイン
- 支払手段変更でクレジットカード払いを選択
- カード情報を登録し、設定完了



利用希望の方はQRコードからお申し込みください。
(または情報センターへご連絡ください。)

木曽広域情報センター 0264-21-2212 **21-2212

お詫び

広報あげまつ1月号(741号)の「令和8年1月1日現在人口」で、次のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

誤 計 3,818人

正 計 3,813人

健康増進センターリシートーク・・・114



美林ちゃん (美)

【テーマ：高齢者補聴器購入費助成事業】

「3月3日は耳の日」



太郎ちゃん (太)

美：ねえ太郎ちゃん。耳の日って知ってる？

太：「耳の日」・・・聞いたことないなあ。

美：耳の日は1956年（昭和31年）に日本耳鼻咽喉科学会の提案により制定されたのよ。「み（3月）み（3日）」の語呂合わせと数字の「3」が耳の形に似ていることが由来なんですって。

太：ほんとだ！！「3」って耳の形に似ているね。

美：難聴と言語障害を持つ人々の悩みを解決し、耳の病気や健康な耳の大切さを知ってもらうために設けられた記念日なの。難聴は視力の低下と異なり自分では気づきにくい病気だから、気になったら耳鼻科を受診して聴こえの検査をしてみるといいわ。

太：相手の話を聞き返すことが多くなったり、家族や友人から「聴こえが悪くない？」と言われたら一度相談してみるといいよね。

美：聴こえにくさを放置していると、人との会話がかみ合わず疎外感を味わったり、認知症リスクの要因になるとも言われているのよ。補聴器で聴こえを保つことで心身ともに健康長寿を目指していきましょう。

難聴は高齢者に限らず、ヘッドホンやイヤホンを使い大きな音量で音楽などを聴き続ける方にも注意が必要です。大きすぎる音量で聞かない、長時間連続して聞かずに定期的に耳を休めるなどの予防が重要です。

<上松町高齢者補聴器購入費用助成事業>

上松町ではこれから補聴器の購入を検討している65歳以上の方へ補聴器購入費用の助成を行っています。

- ・聴覚障害の身体障害者手帳を所持していない方
- ・耳鼻咽喉科の医師により、聴力低下のため日常生活に支障があり、補聴器の使用が必要であると証明された方
- ・両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満である方

上記に当てはまる方が対象となります。

購入を検討している方は**福祉係（52-5550）**までお問合せください。

町の情報は
こちらから
上松町公式サイト



<http://www.town.agematsu.nagano.jp/>



※情報掲載に同意を頂いた方のみ
掲載しています。

田中	上坂	田村
洋子	守雄	はる
86歳	90歳	100歳
北上条	南栄町	観音

ごめいふくをお祈りします



一月
(敬称略)